

地歴公民 (世界史) 早稲田大学 文学部 1/2

<全体分析>

試験時間 60 分

解答形式

マーク式・記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

今年度の大問数は、昨年度の7題から1題減少して6題であった。小問数は44問で、42問であった昨年度より2問増えた。2019年度まで出題が続いていた論述問題は、今年度も出題されなかった。一部に難易度が高い設問が散見されるものの、多くが標準レベルである。全体としての難易度は、昨年度よりもやや易化した。

出題の特徴や昨年度との変更点

古代史・中世史の比重が高いのは例年通りである。昨年度は20世紀以降の歴史がまったく出題されなかったが、今年度は20世紀史が5問出題され、うち第二次世界大戦後史は1問であった。ヨーロッパ美術史を中心とする図版が出題されるのが本学部の特徴であり、今年度は「アレクサンドロス3世(大王)のモザイク画」と「バイユーのタペストリ」が出題された。また、イェルサレム市街の図版が出題されたが、解答に際してはイェルサレム市街に関する知識や図版の読み取りは不要であった。

その他トピックス

かつて本学部で頻繁に出題されていたものの、2018年度を最後に出題されていなかった先史時代が、今年度は出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	マーク式 記述式	古代エジプト	設問3. イ・ウ・エがナイル川下流域に位置することは基本事項であり、テーベがナイル川中流域の都市であることを習得できていれば、消去法でも対処できる。	やや易
II	マーク式 記述式	東アジアにおける文字史料(～三国時代)	設問1. ウ. およそ700年万年前のサヘラントロプスが最古の猿人とされる。設問2. 殷代(前16世紀頃～前11世紀頃)と重複する時期の出来事はウ. ミケーネ文明の滅亡(前1200年頃)。普段から同時代史的な観点に留意して学習を進めているかどうかで差がつく。設問4. ア・ウはいずれも武帝の治世中の出来事だが、「対匈奴のために張騫を西域に派遣→積極的な対外政策を展開→財政難に陥り塩鉄の専売を施行」という因果関係から順序を推測したい。設問7. 文章中の「秦の滅亡後」に注目すれば、消去法を用いてエ. 南越を選ぶことができる。設問10. 内陸アジア史の習得度が問われる設問で、「バクトリア地方」を根拠にエ. 大月氏を選ぶ。設問11. 正史『三国志』を編纂した人物はウ. 陳寿で、明代に小説『三国志演義』を完成させた人物がエ. 羅貫中。正史と小説を区別すること。	標準
III	マーク式 記述式	中世西ヨーロッパ世界の拡大	設問3. 第1回十字軍遠征が始まったのは1096年。パリ大学が設立されたのはそれよりも後の12世紀中頃であることから、イが誤りであることは判断できるものの、他の選択肢が難しい。設問4. 誤文の難易度は高いが、正文であるアの内容は基本事項。設問5. ウ. 万人司祭主義は、カトリ派ではなくプロテスタントの特徴。設問6は難問で、ア. ルイ7世は第2回十字軍に参加したフランス王。	やや難

地歴公民 (世界史) 早稲田大学 文学部 2/2

IV	マーク式 記述式	ヨーロッパの戦争 (イタリア戦争・第一次世界大戦)	設問 1. ア・ウ・エの 3 人が在位していた時期は基本事項であり、消去法でイ. シャルル 8 世を選べるが、早大文学部志望者であればシャルル 8 世を習得しておくのが望ましい。なお、文章中でイタリア戦争の開始を「1492 年」としているが、「1494 年」が正しいと思われる。設問 2. ブラマンテはヴァチカンのサン=ピエトロ大聖堂の設計に関わった人物の一人で、フィレンツェのサンタ=マリア大聖堂の大円蓋を設計したのはブルネレスキである。設問 3. 文化人の出身地や業績を習得しているかどうかで差がつく設問。設問 4. ウ. 正しくは「カルロス 1 世はスペイン国王即位後に、フランソワ 1 世を選挙で破り、神聖ローマ皇帝カール 5 世になった」である。エ. カール 5 世 (カルロス 1 世) は存命中に退位し、皇帝位とスペイン王位を譲っている。設問 6. サライェヴォはボスニアの州都であり、下線部 F が指しているサライェヴォ事件 (1914 年) に先立つ 1908 年に、オーストリアはボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合している。設問 10. ア. アメリカが債権国となったのは第一次世界大戦中のこと。	標準
V	マーク式 記述式	イェルサレムの歴史	設問 1. 王朝名・君主名・首都名が正しい組合せはイだけであるため、図版を読みとる必要はない。なお、図 1 の B 地区はアルメニア正教徒の居住区であり、彼らは西アジアの商業活動で大きな存在感を示した。設問 2. アラブ・ムスリム勢力がイェルサレムの統治を開始したのは第 2 代正統カリフのウマル (位 634 年～644 年) の時代で、その前後 30 年以内に起こったのはエ (618 年) である。設問 3 は難問。ウ. ナヴァリノの海戦はギリシア独立戦争中に行われた海戦で、オスマン帝国・エジプトの艦隊は敗北した。またア. 聖地管理権の移譲が、クリミア戦争開戦前年の 1852 年であることを判断させるのは難。設問 4. パレスチナを委任統治したのはイギリスで、設問文の「 F 」の植民地支配に対する民族運動「1930 年」「専売制に対する運動」から、インドでガンディーが行った「塩の行進」を導こう。	標準
VI	マーク式 記述式	戦いの記録としての造形美術	設問 3. アレクサンドロス 3 世 (大王) のモザイク画や、それがポンペイで出土したことは、教科書の図版やその説明文に記載されている。設問 5. 「11 世紀末」という時代からエ. ロマネスクを選びたい。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

文化史、とりわけ美術史が例年出題されるので、意識して学習したい。古代・中世史の比重が高いものの、近現代史の習得も必須である。全体的に、細かい事項にとらわれず基本事項に重点を置いた学習を心がけてほしいが、一部に難度の高いものが出題されることがあるので、しっかり対策をしておこう。